

はじめに

屋久島には、宮之浦岳(1,936m)をはじめとする険しい山々が連なっています。九州本土最高峰久住山中岳より高い山が7座もある洋上アルプスです。そして、多量の降雨とこの標高差が、樹齢数千年の屋久杉の森や、亜熱帯から亜寒帯までの植物の垂直分布を形成しています。

屋久島は平成5年12月、我が国初めての世界遺産に登録されました。これは、屋久島の素晴らしい自然が世界の宝であると認められたと同時に、今後私達全員が、人類共通の財産として末永く後世に守り伝えていくという大きな責任を負ったことを意味しています。

登山コース・タイム

■縄文杉コース (往復8~10時間)

宮之浦-(車25分)-安房-(車5分)-屋久杉自然館前-[3月~11月:荒川登山バス or タクシー or 貸切バス等] (40分)-荒川登山口へ
荒川登山口-(上り下り50分)-小杉谷学校跡-(上り下り40分)-楠川分岐-(上り下り70分)-大株歩道入口-(上り30分下り25分)-ウィルソン株-(上り60分下り50分)-大王杉-(上り30分下り25分)-縄文杉

■宮之浦岳コース (往復9~10時間)

宮之浦-(車25分)-安房-(車65分)-淀川登山口へ (車 or タクシー)
淀川登山口-(上り下り50分)-淀川小屋-(上り110分下り90分)-花之江河-(上り20分下り)-黒味分岐-(上り140分下り130分)-宮之浦岳

宿泊は避難小屋で

キャンプは原則禁止です。宿泊は必ず避難小屋を利用して下さい。小屋はいずれも無料ですが無人小屋のため、炊事設備も電話もありません。トイレ・水場・テント場は各避難小屋付近にあります。5月の連休や夏休みは混雑しますので、お互いに譲り合ひましょう。

避難小屋のトイレは人力搬出しています。費用軽減の為、携帯トイレの利用促進・屋久島山岳部保全募金にご協力下さい。

名称	収容人員	建築構造	標高
白谷小屋	40	鉄筋コンクリート	825m
高塚小屋	20	鉄骨紙管造	1,330m
新高塚小屋	40	木造	1,460m
鹿之沢小屋	20	石造	1,550m
淀川小屋	40	木造	1,380m
石塚小屋	14	ブロック造	1,600m

※焚き火禁止。残飯やゴミは持ち帰ってください。

※ネズミが出ることがあります。食料は密閉して下さい。

緊急時の連絡先・登山届

機関名	レスキュー要請 (局番0997)
屋久島警察署	46-2110
屋久島分遣所	北: 42-0119 南: 47-2125

以下の機関に登山届を必ず提出しましょう。

(下山連絡は不要です)

機関名	所在	TEL (0997)
屋久島警察署	安房	46-2110
屋久島町役場	宮之浦・安房・尾之間	43-5900
その他	島内の交番・空港・港・各観光案内所・船内・世界自然遺産センター・屋久島環境文化村センター・各登山口(荒川・淀川・白谷雲水峡)・各自の宿泊所	

登山上の注意

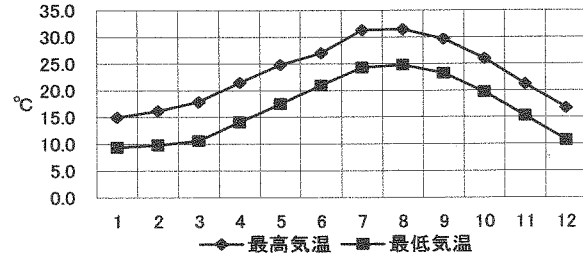
◆気象

降雨量は、平野部では年間 3,000mm~4,000mm、山間部では 8,000mm~10,000mm にも達します。春先と梅雨時期が特に多いですが、毎日降るわけではなく、一度に降る量が多くなります。

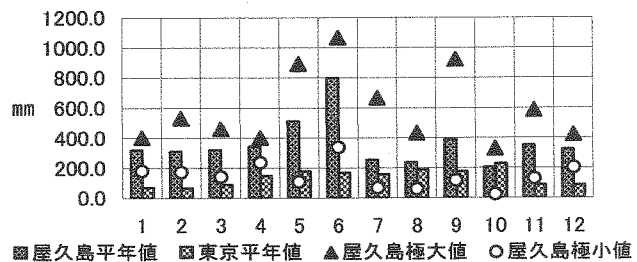
冬季は標高 600m 付近から積雪が見られます。雪は湿性のベタ雪で濡れやすく、ワカン・アイゼン・ピッケルが必要なこともあります。山岳部で氷点下 0~15℃と下がりますので、冬山登山経験が必要となります。

※平年値、極大値・極小値は 2005~2009 年の平均値、極大値・極小値です。

月別気温平年値



月別降水量平年値



◆登山道

- ・地図にある歩道とは登山道のことで、登山道及び道標の整備はされていますが、以前利用されていた登山道でもその後廃道となっている部分もありますのでご注意ください。また、積雪や濃霧により道を見失うこともあります。万一道に迷ったら、滝が多く危険ですから沢に出ずに、尾根に登るのが安全です。

◆装備

- ・長ズボン (ジーンズ不適。濡れると重く、乾かない)
- ・長袖の上着 (縄文杉付近の気温は、麓より約 10℃低くなります)
- ・冬季は防寒着・ニット帽・スパッツも必要
- ・軽登山靴 (縄文杉等)、登山靴 (宮之浦岳)、冬季は状況によりアイゼンも
- ・携帯トイレ (特に縦走や宮之浦岳ルートはトイレが少ないので必須)
- ・雨具 (上下セパレートタイプ) ・手袋 (縄文杉は軍手でもよい)
- ・弁当、非常食 (行動食)、水筒 (夏季は熱中症予防にスポーツドリンク)
- ・携帯電話、懐中電灯またはヘッドランプ、タオル、地形図など

◆その他

- ・ゴミは投げ捨てず、山に持ち込んだものは必ず持ち帰りましょう。
- ・山の水を汚さないよう、特に水場周辺での配慮をお願いします。
- ・猿や鹿に餌を与えないで下さい。また、貴重な生態系に重大な悪影響を与える恐れがあるため、山に動物を連れて行かないで下さい。
- ・国立公園内での動植物、土石等の採取は禁止されています。
- ・自然保護のため登山道から外れないようにしましょう。また、縄文杉の根元は踏みつけられ弱っているため、展望デッキから出ないようにしましょう。
- ・用便は、必ずトイレで行うか、または携帯トイレを使用して下さい。

◆屋久島山岳部保全募金にご協力を

- ・屋久島の山岳部では、自然環境を保全するため、山岳部トイレのし尿の人力搬出や携帯トイレの利用促進、一部登山道の補修などの取り組みを行っています。ぜひ、屋久島山岳部保全募金にご協力をお願いします。
募金額：一人一口 500円 募金場所：各登山口・案内所等